

|                        |  |
|------------------------|--|
| 研究課題名                  | がん領域における専門薬剤師の在籍ががん患者に関するトレーシングレポートの質に及ぼす影響  |
| 研究責任部門                 | 株式会社AINホールディングス 医療連携学術部  |
| 他の研究機関及び各施設の研究責任者      | 株AINファーマシーズ アイン薬局 岸辺店：鈴木 仁   |
| 本研究の目的                 | 医療の発展により、外来でがん化学療法を行う患者さまが増えています。その中で、厚生労働省は2021年に「専門医療機関連携薬局」制度を施行し、がん領域における専門的な知識・経験を持った専門薬剤師が他の薬局薬剤師の専門性を向上させ、がん拠点病院との連携を図ることで、がん化学療法による副作用の早期発見・早期対応に貢献することが求められています。一方、本制度が施行してまだ期間が短いこともあり、専門薬剤師による他の薬局薬剤師に対するがん領域の専門性向上に及ぼす影響を調査した研究は限られています。そこで本研究では、薬局薬剤師ががん患者さまから副作用について聞き取った際、その情報を医療機関に「トレーシングレポート」と呼ばれる書類を用いて報告した内容の質について調査し、専門薬剤師の影響について分析します。 |
| 研究実施期間                 | 研究機関の長の許可日～2030年1月31日  |
| 調査データ該当期間              | 2020年12月～2022年12月  |
| 研究の方法<br>(使用する情報)      | 事例・症例集積研究<br><br>【対象となる方】<br>AIN薬局岸辺店に来局され、当該薬局から医療機関に患者さまの副作用等の情報をトレーシングレポートにより報告が行われた患者さま<br><br>【使用する情報】<br>AIN薬局岸辺店の薬歴簿(トレーシングレポート含)の記録  |
| 試料・情報の他の研究機関への提供及び提供方法 | 他の機関への資料・情報の提供はない  |
| 個人情報の取り扱い              | 利用する情報から氏名や住所等の患者さまを直接特定できる情報は削除いたします。また、研究成果は学会や論文等で発表を予定していますが、その際も患者さまを特定できる個人情報は利用しません。  |
| 本研究の資金源<br>(利益相反)      | 本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。  |
| お問い合わせ先                | アイングループ ホームページ<br>お問い合わせフォーム<br><a href="https://www.ainj.co.jp/inquiry/inquiry.html">https://www.ainj.co.jp/inquiry/inquiry.html</a>  |
| 備考                     |  |